

第11回日本マイコトキシン技術セミナー

カビ類の識別・同定に関する技術講習会のご案内

昨今、食品・環境衛生面においてカビおよびカビが産生するマイコトキシン（カビ毒）による対策が求められています。食品着生菌、環境由来菌やカビ毒汚染の原因となる菌類の計測は、比較的種類が限定されているので、的確な培養法を選択すれば、微生物担当者にとってそれほど難しくありません。しかしながら、特定菌ならびに種のレベルの識別・同定となるとある程度の経験が必要となります。今回、日本マイコトキシン学会では、カビ類の識別・同定に関する技術講習会を企画しました。

講習会では、平板培養の観察の要点、顕微鏡標本の作成技術の実習、代表的な環境由来菌、カビ毒生産菌を対象に、実体顕微鏡観察、顕微鏡観察による識別・同定の要領を、各人1台ずつの顕微鏡を使用しながら習得することを目的としています。カビ類識別・同定の技術習得の最適な講習会です。食品・環境衛生面で活躍する技術者の皆様にご参加いただきたいと思います。

開催概要

日時：2008年9月4日（木）～5日（金）の2日間
9月4日 10時～17時（受付開始9時30分）
9月5日 9時～16時

場所：東京家政大学・板橋校舎 9号館3階 微生物学実験室
（板橋区加賀1-18-1、JR 埼京線 板橋駅下車）

参加費：会 員 25,000 円
賛助会員（1社1名に限ります） 25,000 円
非 会 員 40,000 円（同時入会で会員額にて参加できます）
（宿泊代は含まれていません。必要に応じて各自御準備下さい）

募集人数：20名 程度

研修内容：第1日 カビ培養法の選択と分離培地の選択
食品試料の希釈平板カビ培養の実体顕微鏡観察
代表的なカビ類の顕微鏡観察のポイント
カビ類の識別・観察用平板培地の3点接種の要領
検鏡用標本の作成実習

第2日 穀類・種実類の直接培養によるカビ出現率の測定
カビ毒生産の可能性のある菌類の感染率と分離
エアースンプラーによる空中浮遊カビの計測と識別
ハイコン培養法による環境由来カビの検出・培養

申し込み方法 以下の事項を記入の上、Eメールにてお申し込みください。
氏名、所属、連絡先、TEL/FAX、E-メールアドレス、会員区分
日本マイコトキシン学会・事務局
メールアドレス mycotoxins@nihs.go.jp
6月1日から先着順受け付けとなります。
参加受付後、参加費の振込みなどについてご連絡いたします

技術講習会会場案内

東京家政大学板橋キャンパス

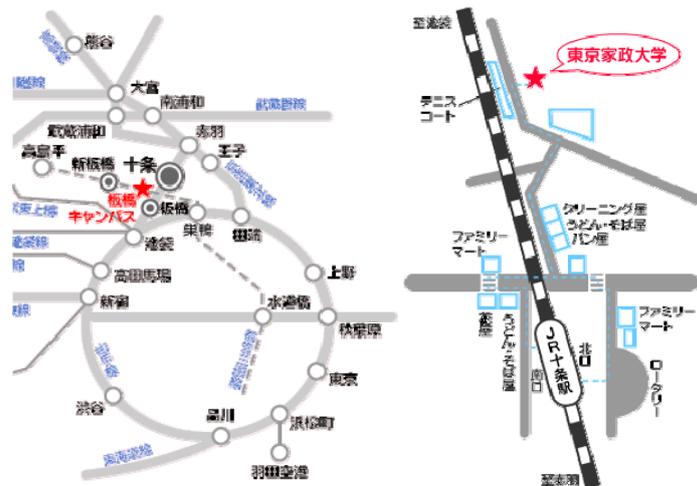
<所在地>

〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1

TEL 03 (3961) 5226

<交通アクセス>

JR 埼京線十条駅下車徒歩7分



お問い合わせ先：日本マイコトキシン学会事務局

〒158-8501 東京都世田谷区上用賀 1-18-1

国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部第4室内

TEL : 03-3700-9407 FAX : 03-3700-9852

E-Mail : mycotoxins@nihs.go.jp

HP : <http://www.chujo-u.ac.jp/myco/Index.html>